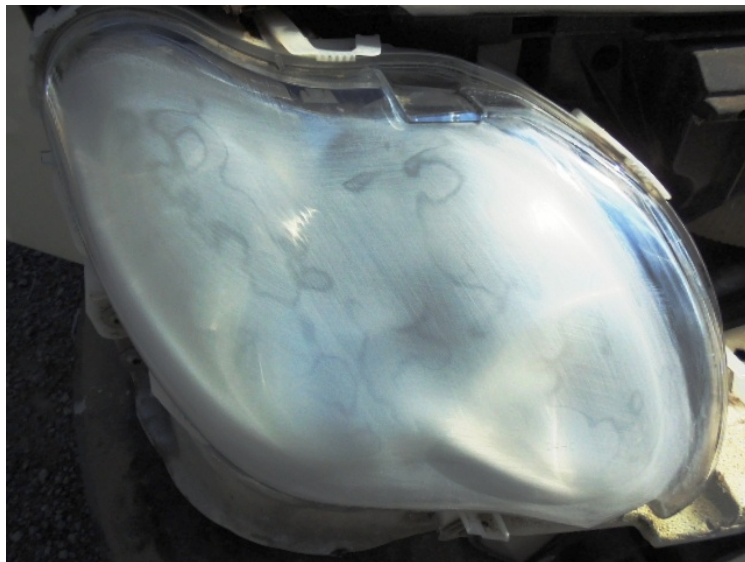


作業上の注意

研磨作業を行なう上で 作業途中砥ぎ残しがないか 確認する事をお勧めします。

特に #180～#320までの作業で完成度が異なります。

ドライ ウェット研磨が終わった時に 一度水拭きし ドライヤーで簡単乾燥して 確認して下さい。



画像のように 縞が出る場合は 研磨不足です。再度ペーパー番数を下げて 研磨作業をやり直して下さい。そのまま施工 噴霧を行なうと **完成後 クラック状態になる場合があります。** 十分気を付けて下さい。